

■ランプ使用上のご注意

- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。
- ランプ点灯時に点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- ランプの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため防水プラグを抜いてください。感電の原因になります。

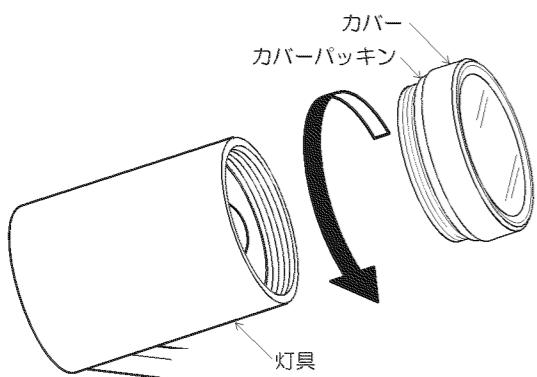
△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 防水プラグを抜く

2 カバーを取外す

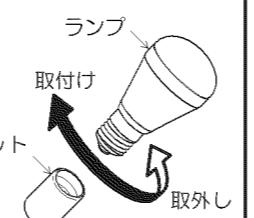
カバーを矢印方向に回して灯具より取外す。



3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
落下によるけがの原因になります。



※白熱ランプは使用できません。

5 カバーを取付ける

■取付手順4を参考にカバーを取付ける。

6 使用済みのランプは 必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため防水プラグを抜いてください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

- 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。
- ランプ(LED電球含む)・グローポジション・電池などの消耗品は、対象外といたします。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電圧(電圧、周波数)による故障及び損傷
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電源/モジュール:3年間

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

お買上年月日

お客様
お名前
ご住所
電話 ()

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工 取扱説明書

型番 AU35872L・AU35873L

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

! 警 告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

厳守	<p>器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・転倒・落によるけがの原因になります。</p>	禁止	<p>電源コードに重いものを載せたり、挟み込んだり、踏んだりしないでください。 →電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。</p>
禁止	<p>この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。</p>		<p>電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。 →電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。</p>
禁止	<p>この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。 →早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障などの原因になります。</p>		<p>電源コードは足を引っ掛けそうな場所にはわせないでください。 →火災・転倒・落によるけがの原因になります。</p>
禁止	<p>このような場所には取付けないでください。 土壌のしっかりした場所に取付けてください。 →火災・感電・転倒・落によるけがの原因になります。</p>		<p>ぬれた手で防水プラグを触らないでください。 →感電の原因になります。</p>
アース工事	<p>アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。</p>	厳守	<p>長期間使用しない場合は防水プラグを抜いてください。 →長期間の外出やご旅行のときは安全のため、コンセントから抜いてください。</p>
分解禁止	<p>器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落によるけがの原因になります。</p>		<p>異常を感じた場合は、速やかに電源を切り、防水プラグを抜いてください。 →放置しますと火災・感電の原因になります。 工事店・電器店にご相談ください。</p>
禁止	<p>器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。</p>		<p>表示された電源電圧(AC 100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。</p>
禁止	<p>器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。</p>		

!**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。
--	--

	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
--	---

	防水プラグを抜くときは必ず防水プラグを持って抜いてください。 →電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。
--	---

■定格

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AU35872L・AU35873L	AC100V	0.11A	6.0W	LDA6-E17×1

■取付前の確認

1 設置場所を確認する

- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 積雪の期間は器具を取り外すか、雪に埋もれないようにする。
漏電・故障・損傷の原因になります。

2 屋外で使用する場合は

防水コンセントを使用する。

■取付手順 △注意 取付けの際は必ず防水プラグを抜いてください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



1 D種(第三種)接地工事を行なう

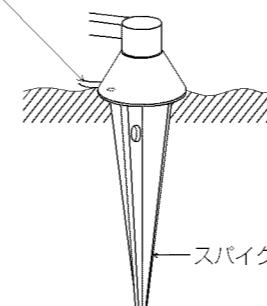
2 スパイクを取付ける

スパイクを完全に地中に埋め込む。

<そのまま取付ける場合>

スパイクを完全に地中に埋め込む

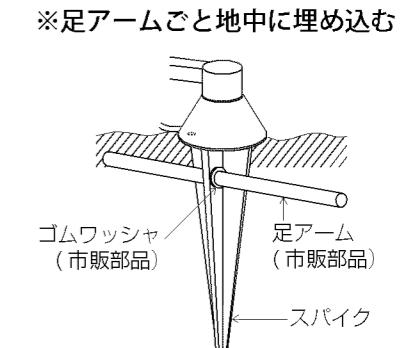
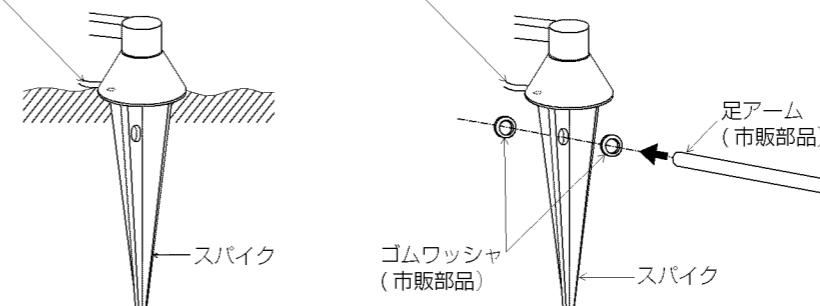
電源コード(キャブタイヤケーブル)



<足アームを装着して取付ける場合>

市販部品の足アームを(Φ15)穴に差し込んでゴムワッシャで止め、スパイクを完全に地中に埋め込む

電源コード(キャブタイヤケーブル)



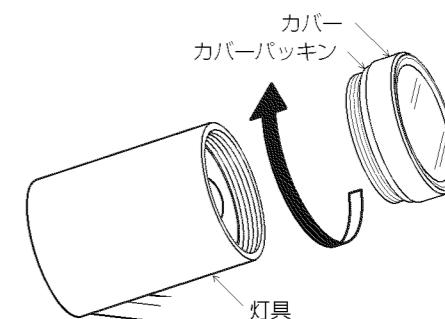
※足アームごと地中に埋め込む

3 ランプを取付ける

4 カバーを取付ける

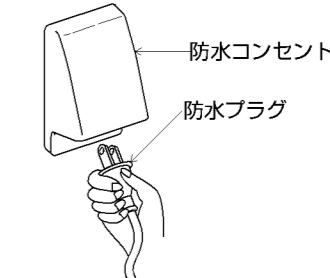
カバーを灯具に合わせ、矢印方向に回して取付ける。
この際、カバーパッキンがよじれたりしないように確実に取付ける。

※無理な力は加えないでください。



5 防水プラグを接続する

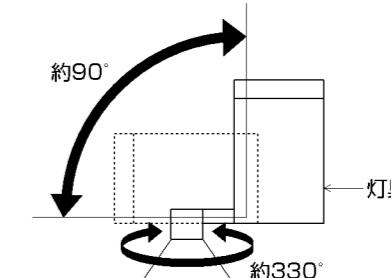
防水コンセントに防水プラグを差し込む。



6 点灯の確認を行なう

■照射方向の調節について

- 照射方向を調節する場合は、灯具を持って行ってください。指定範囲以上、無理に動かさないでください。



■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8~10年が目安です。
数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。